

passo



029

工賃倍増プロジェクト

2010/10.1 - 10.31

up!

passo

a

passo

工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を5年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

※passo(ぱっそ)とは、イタリア語でステップという意味です。

うちの ko-chin 倍增計画!

今回は JD ファクトリーさんをご紹介します。JD ファクトリーさんは、東大阪市にある就労継続支援 B 型の事業所です。昭和 58 年に精神障がいの方の退院後の地域の受け皿として設立され、内職や清掃を中心とした仕事に取り組んでおられます。

仕事があるからここに集まる。

働くことに自信アリ!

事業所には日々 20 人ほどの利用者が通所されていますが、熟練の方も多く指示がなくてもどんどん仕事をこなしていきます。内職は現在 6 社から、ハンガーや冷蔵庫の部品の組み立てや箱折等のお仕事をいただいています。周辺が工場街ということもあって、地域で長年おつきあいされているところもあるそうです。それでも仕事の量は減らないまでも単価の安いものによって変わってくるなど不況の影響は感じているということでした。そんなときは単価交渉もしていると考えておられます。

利用者さんは仕事をするに自信を持っておられます。ですからきちんと仕事が提供できるということを大事に考えておられます。もし「仕事がないのでのんびりしましょう」ということになったとしたらみんな帰ってしまうだろうとおっしゃっていました。働くということが利用者さんにとってなにより大切なことなのです。

手づくり治具で効率アップ!

JD ファクトリーさんの作業場を見ていると、時々「これは?」と思うものがあります。それは『治具』です。JD ファクトリーでは利用者さんが仕事をしやすいように様々な治具も開発しておられます。ちっちゃな木の棒から同じ長さの布を切る道具など。新しい仕事が入るとまず職員の方がその工程を理解して利用者の方に教えます。その中で個々の取り組み方に差ができないように治具を考えておられます。

そんな JD ファクトリーさんですが、ご近所とのお付き合いも積極的にされておられます。地域の病院で毎月 1 回の定期的なバザーに出展したり、地域清掃を通じて施設のことを知ってもらう機会を持っておられます。事業所でもちつきをしてご近所におすそわけしたこともありました。地域の中で「共に生き」「共に働く」場としてしっかりと根を張った活動がみられます。

社会福祉法人 ゆう JD ファクトリー
〒577-0056 東大阪市長堂 3-22-22
TEL / FAX 06-6784-7970

第23回 カフェ

今年度 2 回目のカフェは、就労継続支援 A 型・B 型の多機能事業所としてパン、クッキー、喫茶、配食弁当、野菜づくりや軽作業などに取り組んでおられる、社会福祉法人 ゆるり福祉会 PicaPica 作業所の上原施設長をゲストスピーカーとしてお招きしました。

B 型事業所は、月額平均工賃 12,499 円 (平成 20 年度) から 19,158 円 (平成 21 年度) と、わずか 1 年間で 6,659 円アップしたそうです。レストランの運営を中心に工賃アップの秘訣についてお話いただきました。

レストランの周辺は人通りが少なく、あまり良い立地とは言えませんが、毎日お客さんがいっぱいで大盛況! 口コミで時には府外から来られるお客さんもおられるとか。そんな魅力たっぷりの店舗を運営するためにどのような工夫をされているのでしょうか。

まずは、「手づくり」「自然派」というコンセプトで“やさしいお店”づくりに取り組んでおられます。お店の裏には小さな農園があり、そこでとれた野菜を料理に使っています。自家製ハーブを使ったパスタソース、ドレッシングなどが大好評で、お店で販売もしています。ただし、農園でとれる野菜は季節ごとに少量で一度に作れる量も少なく、売り切れ御免。来店する度に違う味が楽しめるし少量で限定されていることが魅力になっているのかもしれない。

お店をオープンしてすぐはなかなか客足が伸びず、悩んだこともあったそうです。しかし、何事にも挑戦していく気持ちでいるんなことに取り組み、近隣に毎月 3,000 部のポスティングをしたり、近くに住む小さいお子さんを連れた親子向けの交流イベントなども開催しています。今ではイベント告知をするとすぐに申し込みがいっぱいになる人気ぶりです。

レストランの運営は A 型事業ですが、お店が活性化することで補助作業を請ける B 型事業の仕事も増え、相乗効果で工賃アップに繋がっているとのこと。利用者さん個性をどういかしてあげられるかを常に考え、良い雰囲気のお店作りをしていくために、お客さんのニーズをえ、自分がお客さんとしてお店に行った時に何をしたらうと嬉しいか、どんなお店であれば落ち着くかをよく話し合ったとおっしゃっていました。「できることを活

す」「無理をせず徐々に広げるといった居心地の良さがお客さんにとって“やさしいお店”として伝わり、人気に繋がっているのだと思います。



9月16日(木) 参加施設数: 17 施設 参加人数: 23 人
場所: 大阪市教育会館 (アネックスパル法円坂)

広報誌に載せていただきました！

門真市の広報誌「夢いろキャンパス」に使用済みインクカートリッジ回収の告知を掲載していただきました。市町村の広報誌に載せていただいたのは初めて！この告知は、門真市の作業所さん（社福あしたの会 サンタ・ランド）が市役所において実現したものです。また、パナソニック電工松寿会の会報でもインクカートリッジ回収を紹介していただき、遠方の会員様からも送られてくるそうです。

このように、インクカートリッジ回収事業への協力の輪は、さまざまに広がり、作業所さんは大きな応援を受けて工賃アップに取り組んでいます。

障がいのある人の就労支援のため

使用済みインクカートリッジ回収を行っています

以下の場所に回収箱がありますので、ご協力お願いいたします。

インクカートリッジ回収箱設置場所

○市役所本館1階西側 ○市役所内食堂（3階）
○環境センター窓口 ○南部市民センター事務所

「広報かどま」平成22年9月号（9月1日発行）

授産製品コンペティションの予告です

工賃倍増計画推進事業
**Challenged
Creative
Award2010**

「第7回授産製品コンペティション」がタイトルを新たに「**チャレンジド クリエイティブ アワード2010**」となり、一般市民の審査員を加えて秋から冬にかけて熱く開催します！

“売れるものづくり”をテーマに、感動や驚きのある作品を発掘、支援し、新たな販路開拓の可能性を拓けます。
※詳しくは次号にて！！

募集品目は、雑貨部門（縫製・陶芸・木工・紙製品・皮革製品・トールペイント・アクセサリーなど）とパン・スイーツ部門（クッキーなどの焼き菓子）。作品には、必ず利用者さんが関わっていること。各施設で各部門1作品が応募できます。

ご応募は、工賃引上げ計画シート提出済みの施設・作業所が対象となりますが、未提出の場合はエル・チャレンジまでご相談ください。

第2回

経営・技術セミナー報告

今回のセミナーの共通テーマは、「企業といかに上手につきあうか」。ビジネスマナーを身につけ、チラシやパンフレットなどの営業ツールを磨くことで、営業力を飛躍的にパワーアップしようというのがねらいです。

「ビジネスマナーの大切さを実感しました」

まず、受発注コーディネーターの諏訪弘史氏より「企業とつきあう時に知っておきたい最低限のルール」の話。身だしなみのチェックポイントや言葉遣いの基本を確認。また、豊富な経験談を交えて、会社訪問時の準備やアポイントメントの取り方、名刺交換の仕方など、改めてビジネスマナーの大切さを学びました。次に、経営コンサルタント（行政書士）の井上明博氏が専門家の立場から「企業と契約するときのポイント」について、契約書の意義と必要性、その要点などの説明。契約書は後でトラブルにならないための事前の取り決め。形式にこだわるよりも、必要事項をきちんとうたっておくことの大切さを確認しました。



8月26日
参加:24 施設 27人

「チラシづくりがこんなに楽しいなんて」

作業所の「顔」であるチラシやパンフレットなどの営業ツールをいかにグレードアップするか…。第2回技術セミナーは、「Wordのできる営業ツール」をテーマに、NPO法人シンフォニーの深井美智代氏を講師に、チラシ・パンフレットづくりのポイントを学びました。チラシやパンフレットには、必要情報とともに、作業所の思いを伝えるデザインや工夫が盛り込まれていることが大切です。セミナーでは実際にパソコンを使った演習を行いました。図やテキストボックス、ワードアート…。身近なソフトであるWordを駆使して、「こんなに楽しいチラシができるなんて」と参加者の評判は上々。それぞれ“お土産”を持ち帰っておられました。

9月1日
参加:28 施設 33人





出店販売をしている
作業所さんからの声
をご紹介します。

出店をさせていただいている企業様から、販売員が
多くて（2 作業で 10 人）、商品に近寄りにくかった
とのこと意見をいただき、早速、作業所さんに連絡を
しました。その結果・・・

大阪府庁の「まちのパンやさん」で販売して
いると、ひとりのお客様が「このラスク、お
いしかったわ。ラッピングもかわいいから知
人に送りたいので、焼き菓子の詰め合わせっ
てできますか？」とお声をかけていただき
ました。喜んでお受けすると、送り先はなん
と青森県と徳島県と鹿児島県！「わぁー日本
の北から南やん！」とみんなで驚き、私たち
が一生懸命作ったお菓子がこんなに遠くのお
客様に食べていただけることを本当にうれし
く思いました。これからも頑張ります。

（アトリエユウの家）

企業様での初めての出店販売の後、社員の皆さま
からのご意見を伝えていただき、お客様の立場に
立って考えるという基本的なことが抜けていたこ
とに気づくことができました。社員の皆さまから
いただいた声を大切に、販売人数を考え、試食を
用意したり価格を手直ししたり色々工夫して取り
組んだ結果、多くの方にも買っていただくことがで
き、スタッフ、利用者さん、ともに前回にない喜
びを感じました。本当にありがとうございました。
（ヘルプセンターぽっぴ）

出店販売していると
うれしい出会いがまだ
まだありそうですね。



ご意見をいただき、
それに応えるために色々工夫
したり考えることが、作業所
さんの財産になっていくと思
いますよ。

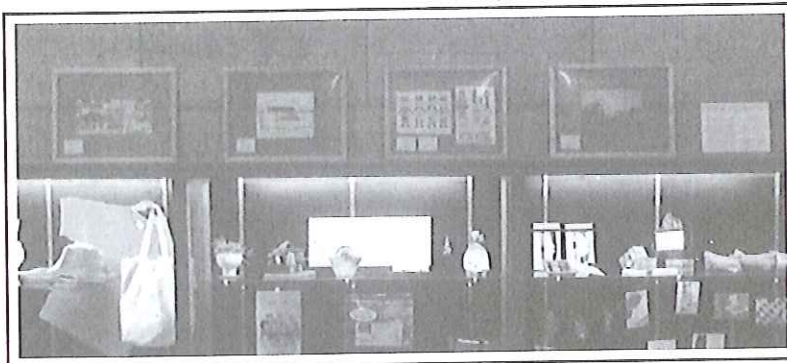


大阪府庁の正面玄関にあるショーケースの上の「ふれあいギャラリー」の絵が変わりました！

今回のテーマは「旅へ行こう」

旅に関連した電車や乗り物、駅員さん
のイラスト、そして法隆寺のスケッチ
などを集めて展示しました。
9月～11月まで展示しています。

府庁にお立ち寄りの際は、是非ご覧く
ださいね！



こちら編集部

今回の出展者

（社福）北摂杉の子会
ジョブサイトよど
砂子 輝さん

（特活）活動センターいっぽ
地域活動支援センターいっぽ
堀 正宗さん

（特活）ユウの家
アトリエユウの家
平安 義紀さん

passo に関するご意見、ご感想をお待ちしています！

お問い合わせ先



大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）
大阪市中央区法円坂 1 丁目 1 番 35 大阪市教育会館 5 階 TEL: 06-6949-3551 FAX: 06-6920-3522

<http://www.l-challenge.com/>

<http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html>